

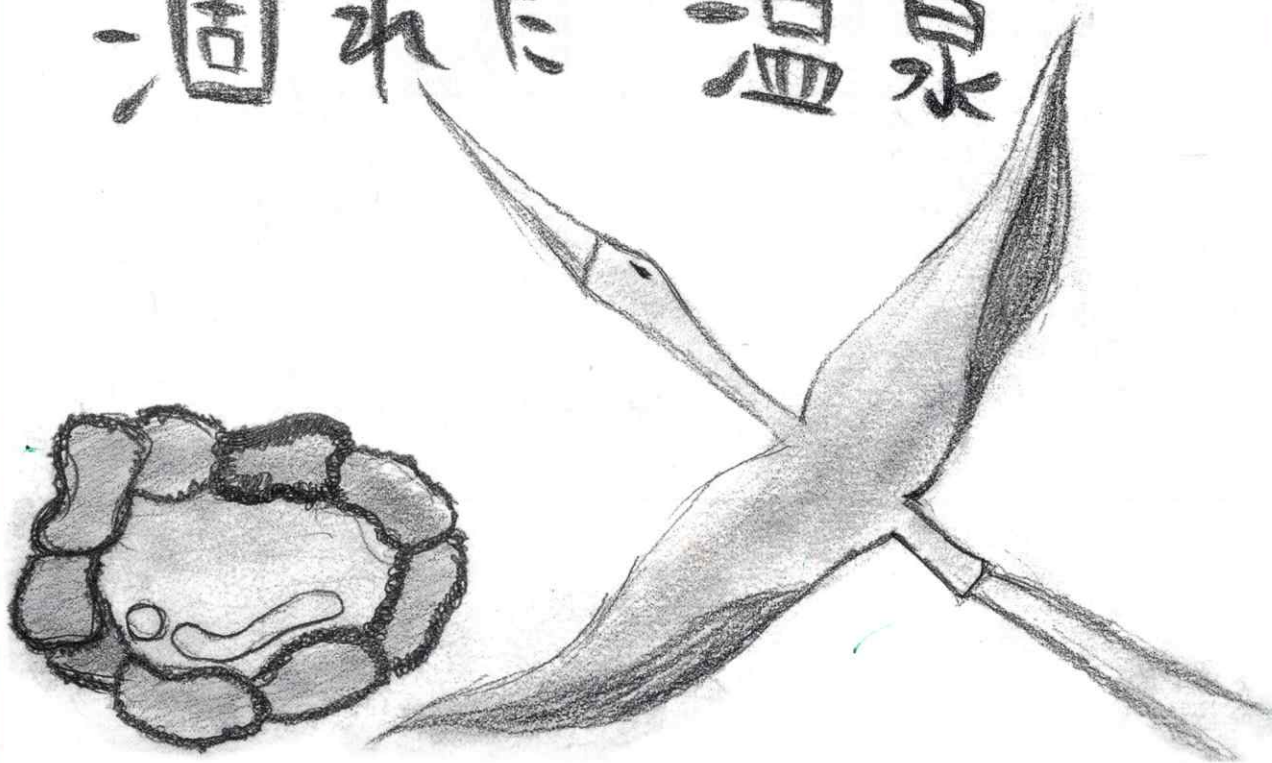
私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町

夜久野自治会だより

第18号

平成23年
3月号

涸れた温泉



ふる里夜久野の昔話「涸れた温泉」
夜久野中学校3年
浮津 玲奈 さん

おもな内容

会長あいさつ.....	2
定期総会.....	2
決算報告.....	3
《特集》今確かめたい夜久野の教育.....	4~7
まごころ銀行(ふるさと基金).....	8

お知らせ

東日本大震災に係る義援金などについて夜久野地域では下記の受入れ場所があります。

- 受付場所 市役所夜久野支所 (37-1106)
市社会福祉協議会夜久野支所 (38-9000)
- 受付時間 月曜日から金曜日
午前8:30~午後5時

ぜったい読んでね!

重要性が増す自治会

夜久野町連合自治会 会長 井上 貞昭

福知山市も合併後五年が経過し、合併協定による特例措置が終了を迎えることになりました。

少子高齢化が進行し地元産業、特に農林業の先行きが不透明な現在、特例措置の終了は経済状況が厳しい農村に更に大きな不安となります。しかし私たちがこの現実には立ち向かうにあたって、自治会が果たす役割がますます重要になると思っております。

地区公民館が自治会の自主運営になることは、拠点施設の経費負担が地区公民館活動に及ぼす影響は少なくありません。しかし、施設維持の課題もさることながら、地元活性化の観点から公民館活動のあり方を再構築する機会と捉え、取り組みを強めていただきたいと思います。

今年度の文化事業では、夜久野の小中学校で子供たちの目の前での見事なアウトリーチ事業、いきいきフエスタ公民館まつりのマリンバ演奏、またふれあいプラザホールでの本格的な市民演劇の上演などの催しに、私たちは大きな感動を共有しました。今後とも連合自治会は地区・地域公民館運営協議会の構成団体として公民館活動にも力を注ぎたいものです。

夜久野の大きな課題である学校問題では、連合自治会を中心とする「明日の夜久野教育を考える会」

は小中一貫校について理解を深めるため、先進地視察や専門家による講演会を催すなど研鑽に勤める一方、市長・教育委員会に対し「要望書」に掲げる四項目の実現に向けた要望を改めて行いました。

今年一月には教育委員会の主導する教育改革推進プログラムが動きはじめました。

市内最初に夜久野で説明会が開かれ、小学校問題がいよいよ具体化に向け動き出しました。

来年度は「明日の夜久野教育を考える会」の取り組みの正念場となつてくると考えています。

ふり返ってみますと多くの方々の助言、指導を仰ぎながらの一年間でしたが自治会が地域の多岐にわたる関係団体から、大きな期待を寄せられていることを痛感いたしました。

今後とも夜久野町連合自治会に對しまして皆様方のさらなるご支援、ご協力は不可欠と思っています。

この一年間大変御世話になりました。ありがとうございました。

平成二十二年 夜久野町連合自治会総会開催！

平成二十三年三月十日（木）夜久野ふれあいプラザにおいて、藤原進議長（奥水坂自治会会長）のもと、今年度の事業・会計報告等について審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

平成二十二年事業報告

①各自治会長とのコミュニケーションの充実・強化

・幹事会組織を通して当面する課題について、意思疎通を図りながら協議を進めてきたつもりですが、課題への取り組み状況および共有が充分図ることができたか反省もしています。

②明日の夜久野教育を考える会の取組の継続と実現

・要望書に掲げる四項目の実現に向け市長、教育長に陳情をおこないました。
・小中一貫校の先進地視察、専門家の講演会を開催するなどの研修にも努めました。

・教育委員会が統合に向け動き始めた今、参加団体や住民との連携が重要になると思います。

③公民館活動への積極参加と自立化への支援と「ふるさと基金」の活用

・公民館活動に積極的に参加協力しました。

④夜久野地域河川掃除の委託契約の締結

・夜久野町連合自治会が窓口となり、京都府と委託契約を締結し河川掃除を実施しました。

⑤夜久野地域における子どもと高齢者の安全確保

・夏期期間における学校プールの管理・監視へ財政支援を行いました。
・住民の安心・安全のためのパトロールに財政支援を行いました。

⑥「夜久野自治会だより」の発行

・多くの方々のご支援により四回発行することができました。
・「家庭ごみ収集カレンダー」の継続発行

・「見やすい、わかりやすいカレンダー」につとめ十二月に平成二十三年版を発行しました。

⑧夜久野地域自主防災・防火組織結成への支援

・「夜久野自治会だより」で特集を組み組織化の推進を図りました。
・新たに六自治会が組織化され、計十四自治会となりました。

⑨上夜久野地区における税金等出張徴収の継続

・次年度以降も実施していただくよう市長に要望書を出しました。
・平成二十三年度も実施していただくことになりました。

平成二十二年会計中間報告 次ページ掲載

以上の報告がされ、全会一致で承認されました。他に、平成二十二年「夜久野ふるさと基金」についても事業会計報告がされました。

平成22年度・夜久野町連合自治会 会計決算報告書(中間)

平成23年2月17日現在

《一般会計》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
繰越金	291,458	291,458	0	前年度繰越金	148,112
会 費	695,000	692,000	△3,000	500円×1,384戸	838,200
協賛金	120,000	160,000	40,000	協賛金23企業	180,000
雑収入	200	61	△139	預金利息	40,176
合 計	1,106,658	1,143,519	36,861		1,206,488

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
会 議 費	25,000	9,620	△15,380	総会お茶代	13,776
事務消耗品費	40,000	25,312	14,688	用紙、封筒、プリンターインク、ゴム印等事務用品	60,444
通信交通費	25,000	35,020	10,020	はがき、切手等郵送料	26,260
事業費	960,000	871,250	△88,750	自治会だより3回発行 @99,750円 ごみカレンダー2,000部42,000円 プール補助(3小学校)12万円 夜久野教考へ5万円 自治会事務局費36万円	814,550
予備費	56,658	0	△56,658		0
合 計	1,106,658	941,202	△165,456		915,030

(収入) 1,143,519円 - (支出) 941,202円 = 202,317円 (差引残高)

《特別会計》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
繰越金	90,649	90,649	0	前年度繰越金	39,995
河川掃除受託	6,358,800	6,358,800	0	京都府より	6,358,800
雑収入	100	12	△88	預金利息	74
合 計	6,449,549	6,449,461	△88		6,398,869

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
租税公課	10,000	10,000	0	委託契約の収入印紙代	10,000
自治会配分金	6,300,000	6,299,040	△960	44自治会配分	6,298,220
予備費	139,549	30,000	△109,549	夜久野教考へ3万円繰出し (平成23年1月21日幹事会承認)	0
合 計	6,449,549	6,339,040	△110,509		6,308,220

(収入) 6,449,461円 - (支出) 6,339,040円 = 110,421円 (差引残高)

《明日の夜久野教育を考える会》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
繰越金	6,093	6,093	0	前年度繰越金	7,835
繰入金	80,000	80,000	0	一般会計より5万円・特別会計より3万円繰入れ	50,000
雑収入	10	8,881	8,871	預金利息2円・研修視察残金8,879円	8
合 計	86,103	94,974	8,871		57,843

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
会 議 費	5,000	12,000	7,000	講演会花代 交流会議負担金	0
通 信 費	60,000	5,000	△55,000	切手・ハガキ代	10,000
予備費	21,103	20,000	△1,103	講師謝金	41,750
合 計	86,103	37,000	△49,103		51,750

(収入) 94,974円 - (支出) 37,000円 = 57,974円 (差引残高)

上記のとおり決算報告(中間)をいたします。

平成23年3月10日

夜久野町連合自治会 会計 氷上 正喜

今、夜久野の教育は・・・みんなで確かめておきたいこと

―学校づくりと地域づくりの一体化へ・・・―

私たち夜久野町連合自治会では、これからの地域づくりの要として小中学校の在り方を採り上げ「明日の夜久野教育を考える会」を組織し取組みを進めてきました。継承し、さらに発展させねばならない、夜久野教育の特徴や良さを、みんなで確かめあうことにします。

心をひとつに涙の金賞・・・

中学校合唱京都代表へ

「H22年8月10日、NHKの合唱コンクール京都大会会場・8回目のこの日、金賞を射止めた瞬間、拍手し、手を握りあって喜ぶ子どもたちの姿に、思わずこみ上げてくるものを止めることができませんでした。だれと握手を交わし、肩を抱いたか覚えていません。」

(指導担当の教員)

全校98名。小さな学校が心を一つにして工夫を重ね、夜久野ならではの混声合唱団をつくり、加えて保護者・地域からの熱い応援が大きな励ましとなつての栄冠であつた。



時代を先取りして・・・

情報教育の先進地

「低学年の子どもが、パソコンに向かい“ローマ字”入力でキーをたたいている姿を見たときは、「ショック」でした。また、修学旅行から帰った6年生、社会見学を済ませた4年生が、学習結果をパソコンを使って写真を編集し、スライドで発表しあう様子は、本当に驚きでした。」(本年着任の小学校長)

学習を豊かにするパソコンの活用はもとより、夜久野で力を入れている漢字検定、英語検定は旧町時代には町費で、合併後はPTAが支援し、学校全体の取組になっている。夜久野の学力の高さの源は、先見性と徹底した基礎と自学自習を重視し、学校と家庭の連携した取組にある。

こんな修学旅行生は、初めて・・・

「沖縄への中学校の修学旅行。22年度は、“沖縄戦の縮図”といわれる伊江島の民宿での体験でした。戦争と平和、いのち・人間の尊厳の根っこを学ぶまたとない機会となりました。一夜明けて、合唱で別れを告げた生徒たちを、多くの島の人たちが見送ってくださいました。“こんな素直で優しく、規律正しい生徒さんは初めて・・・”と全員が涙ながらに生徒たちの手を取り、肩を抱き寄せ別れを惜しんでくれました。校内文化祭での報告は、劇化して感動的な「学習発表」となりました。」(中学校長)

このような生徒の育ちは、国際的な障害のある人への支援「メイク・ア・ウィッシュ」の取組や、平成6年から続くアルミ缶収集による、福祉施設への車椅子などの器具の寄贈の活動等のボランティア体験の成果である。(平成16年には京都新聞大賞【福祉賞】)を受けている。因みに、アルミ缶収集では、地域のみなさんの“中学校の子らが集めているから”という思いと協力があってできている(283,300缶を集め届けた方も)ことはいうまでもない。生徒たちは、様々な活動を通して、社会の一員として生きるとはどういうことかしっかりと学んでいる。

夜久野は10年前から・・・ ハウアーユー (How are you?)

「あ！・・・あそこにおいてや・・・口々に叫びながら、子どもたち一斉にかけだした。それは、修学旅行の目的の一つに「外国の人」に英語で話しかけよう、があったからです。名前を紹介し、どこからきたの？・・・。なんと、“エイゴ”が通じているではありませんか。初対面の外国人を見上げ、すがりつくように懸命に語りかけ、日本伝統の“折り紙”などを紹介しようとする子どもたちの姿に、胸が熱くなるのを覚えました。」(今年着任の小学校教員)

「夜久野の子どもたちは、英語を聞き取る力は抜群、自信を持って積極的に話しかける、そして何よりも感心するのは、英語活動を楽しんでいることです。やはり低学年から取り組む効果は、大きいですね」(今年着任の学校長)

全国的には、ようやく、来年度にも小学校5・6年からの外国語活動に取り組む方針。夜久野では、平成12年から小学1年生より、“シャワー”のように英語を聴かせ、なじませることを大切にしてきた。10年の年輪を刻み、当時の小1だった子どもは、高校へすすむまでになっている。

市内英語スピーチ大会で、グランプリを獲得する生徒もいる。



かけがえのない“いのち”、そして人権

「昨日私の家で、葬式を出しました。小学校から下校してくる子どもたちの列が家の前を通りかかりました。すると先頭を歩いていった上級生らしき子が、列を止め、何か指示をしているようでした。すると子どもみんなが家に向かって整列をしました。そして、子どもたちが一斉に深々と頭を下げて礼をするではありませんか。そして、こどもたちは、向きを変えて去って行きました。わたしは、これを見て思わず手を合わせていました。逝った者を思い、送る者を思う気持ちの子どもたちがいた。こんな優しい心が身についている。感動してしまい、嬉しいやらなんやらで、学校にお礼したくて、電話してしまいました。」(元小学校長への電話より)

現在、中学校の家庭科の授業は、男女共修で、「保育」についても共に学ぶ。これを「命の学習」と位置づけ、沐浴、離乳食の実習は、男女の区別無く取り組む。平成22年には、3歳児までの乳幼児と共に総勢74名のミニ運動会を行い、生徒の手作りおもちゃの遊び等でなごやかな集いとなった。この取組は、平成18年に市教委の「けやき賞」を受賞している。

初回は小・中合同で始めたハンセン病療養所への訪問・交流は、現在中学生と共にPTA等の方々と継続し7回目を終えた。22年度には、従来から引き続く人権学習の積み重ねを基盤にしたこの取組が認められ、京都代表として全国大会で発表した。

スポーツの夜久野・・・少数精鋭のすごさ

「福知山市小学校バスケットボール大会で、優勝したんです。6年生8名、内男子6名なんです。ルールでは、1チーム15名登録できるのですが、6名で挑戦しました。初戦から4戦連勝で優勝です。練習試合もできません。担任と保護者が一体となって支援したんです。女子は6年生が2名なので、4年生の3人に加わってもらって挑戦しました。これまた準優勝しました。みんな元気です。小学校での体力づくりが、中学校でも花を咲かせるんですね。楽しみです。」（小学校長・担任・保護者）

今から10年前、夜久野中学校の生徒たちが、各種のスポーツ大会に学校ぐるみで参加し、大きな成果をあげはじめた。陸上競技では、福天大会の総合優勝から近畿・全国へと進出する生徒も現われ、今に続く市内大会連続優勝の基礎を築いた。加えて、大会の終了後、ただ一校、だれに指示されるでもなく、後始末・清掃を手伝う夜久野中学校の選手たちの姿が見られるようになった。今、夜久野中学校を初めて訪れた人が、生徒たちの何人かが、立ち止まって挨拶するのに感心する。また就学前教育（保育園）においても体力づくりを通して戸板登りができ、竹馬のり、鉄棒・跳び箱・縄跳・自転車等を習得する中で、お互いが一人ひとりの違いを認め、挑戦し応援する心豊かな子を育てる取組を重視している。今後保・小・中の連続した取組が大切になる。

成果をあげる夜久野の学校間の連携

H23年2月に、福知山市学校教育フェスティバルにおいて、夜久野ブロックが発表しました。その中に、中学校の挑戦会（校内陸上競技会・体育祭）に小学生が参加、中学生が小学校4年生と共に国語の学習、6年生が中学1・2年と共に英語を学んだこと、また、中学校教員が小学校高学年で担任と共に算数を指導する取組等を紹介しました。小学校三校の合同学習として、修学旅行、陸上競技練習、社会見学、1・2年生の生活科学学習等の様子も報告しました。（発表担当教員）

夏休みのサマーフェスティバルでの地域の支援、公民館「パソコン講座」では、各校の教員や中学生が講師となり、また、地区運動会、「いきいきフェスタ」への参加など相互の交流が数多く行われている。さらに、一人暮らしの高齢者への鉢植えのプレゼントや手書きの年賀状を出す取組、無形民俗文化財でもある祭りの「つくりもん」を全校で取組むユニークな例等々地域と学校の繋がりで子どもを育む努力も続けられている。



22年には、困難を克服して実施された高原祭りへの定番となっている小中学生の参加に加えて、大学生などの新しい層の若い人たちの参画が見えてきた。“夜久野の子どもは、夜久野の地域社会全体で育てる”という努力が、しっかりと根付き枝葉を拡げている。

際立つ地域の支え・・・教育の町夜久野

「夜久野に着任し、一番驚いたのは、地域の皆さんの支え・バックアップの力強さです。自治会はもちろんのこと、公民館や老人クラブをはじめ様々な団体や個人の方々の応援や支援がありがたいです。あの熊出没の際、自治会を中心に地域の皆さんで組織されている学区安全推進協議会のみなさんに、素早い対応をいただいたのには、頭が下がる思いでした。」（小学校教頭）

他市町から夜久野に着任した教職員が、一様に感心して話すことの一つに“地域の協力・支え”がある。こんなに温かく、豊かで親身に、学校や子どもの力になってもらえる地域はない、とまで断言する人もあるほどである。

学校行事や地域の年中行事や、自治会・公民館等多くの団体や個人の方々の年間を通して継続する交流・支援が大きな力となり成果を上げている。それが、PTAの全国表彰、夜久野地域公民館の文科省表彰と繋がっている。

平成22年秋に国民文化祭のプレイベント（アウトリーチコンサート）が府下6市町で実施されたが、夜久野での演奏会が、最も盛況であった。綾部での「まとめの演奏会」には、大型バスが夜久野に提供され、小中学生を含めて世代を超えて、人も満員、心もいっぱいバスでの参加となりました。



「地域が学校を育て 学校が地域を育てる」・・・

先人達、そして私たちが営々として積み上げた取組の歩みと、それにより発展させてきた夜久野の教育は、地域のかげがえのない「宝」であり「誇り」です。さらなる充実と発展を願う地域住民の願いが「明日の夜久野教育を考える会」による「要望4項目」として、3カ年にわたる取組となりました。これらの中心である三小学校の統合による「新・夜久野小学校」と夜久野中学校との一貫した教育の体制の構築実現は、今まさに正念場を迎えています。

子どもや地域社会の未来を切り拓くために、保護者・全地域住民が心をつなげて、早期実現に向けて取組を強めましょう。

夜久野の未来を拓くのは、子どもたち。
その子らの学びと育ちを豊かにする取組は、今を生きる私達の責務です。

そしてそれが、私たちの生きがいだから。



表紙の民話

涸れた温泉

それはずいぶん昔のこと、額田向嶋の地に温泉がとうとうと湧き出た。

雪の多い夜久野の里に、冬でもポカポカと湯気の上がるこの温泉のまわりには、土地の人は勿論、ずいぶん遠くの人たちも聞きつけて集まってきた。

こんこんと湧き出る清らかな温泉には、沐浴は勿論、持ち帰って炊事洗濯にまでも役立てていた。

そして、いつしかこの温泉を【薬師様のいで湯】と名付けて呼ぶようになった。

『めつぼう今日は冷え込むわい』『ほんとに寒いことじゃ。』

『どれ、それじゃ薬師様まで出かけようかいの。』と、寒い日には温湯に浸かって吾身の果報とお互いの冥加を喜び合った。

また、暑い日には暑い日で『ほんと今日はくだびれたわい』『毎日この暑くはやりきれんわい』と、折にふれて【薬師様のいで湯】に感謝し、心の慰めの場としていた。

そして、温泉に対する信仰の念が深められ、やがて、観音様のそ

ばには薬師堂が建立された。

平穏な日々や歳月が続き【薬師様のいで湯】は、一日も変わることもなく清い湯出を続けていた。

しかし、時の流れがお薬師様に對する感謝の念を薄れさせたのか、ある日のこと何気なく村人が、神聖なる靈湯の【薬師様のいで湯】で、こともあろうに赤ん坊のおおつを洗ってしまった。

すると、『あら不思議や・・・』すき透った【出湯】の中から突然羽ばたきが起こり、真っ白なコウノトリが舞い上がった。

コウノトリは、西北の方向へと飛び立ち、ポカポカと湯気の出ている温泉は、たちまち涸れていった。

無惨にも靈域を汚してしまった村人達は、いつの日か必ずもとの清い温泉が湧き出ることを念じて、飛び去った西北の方向に向って祈り続けた。

この伝説に興味を覚え、涸れた温泉の名残を惜しむ人の中には、コウノトリが飛び去った地とは、今の城崎温泉ではないかと力説される。

いろいろな想像を巡らせれば、額田温泉は、城崎温泉の元祖といえるべきか。

(出典：「ふるさと夜久野の昔ばなし」

夜久野町商工会編)

表紙イラスト「夜久野の民話」へのご協力ありがとうございました。

本年度「自治会だより」の表紙に応募いただいた夜久野中学校生徒さん14名の作品を夜久野ふれあいプラザに展示しています。みなさん、ぜひご覧ください。(ふれあいプラザ開館時間は、午前8時30分～午後6時。3月21日(祝日)は閉館。)

作品展

〇期間 平成23年3月18日～3月31日
〇場所 夜久野ふれあいプラザ 玄関ロビー

夜久野ふるさと基金 平成22年度 事業報告

運営委員会委員長
井上 貞昭

「夜久野ふるさと基金」に
対し今年度も多くのの方の
協力を賜り心より感謝いた
してあります。今年度も左
記の事業を行いました。

- (1) 高齢者福祉支援とし
て福知山市社会福祉協
議会夜久野支部に寄付
- (2) 安全な街づくり支援
として福知山防犯推進
委員協議会夜久野支部
に寄付
- (3) 学校図書の実支援
として夜久野小学校
へ図書寄贈
- (4) 文化事業支援として
夜久野地域公民館運営
協議会に寄付
- (5) 自治会活動支援とし
て自治会保険に加入

今後ともご芳情を寄せら
れた方々の篤志を生かし、
夜久野地域の更なる発展に
寄与する運営に心がけま
すので協力ご支援をお願い
致します。
なお、篤志預託者への感
謝状は、平成23年3月31日
を以て終了し、以降は御
礼状に替えさせていただきます。

平成22年度 賛助会員ご加入
ありがとうございました。

JA京都にのくに夜久野支店
株式会社衣川組
株式会社丹波栗蔵
福知山市商工会夜久野支所
衣川憲治税理士事務所
夜久野高原温泉
山田通信建設株式会社
有限会社夜久野自動車整備工場
上田自動車整備工場
有限会社佐藤商事
有限会社藤本石油夜久野給油所
なかじ医院上夜久野診療所
西垣内科医院
高内石工組合
株式会社クリア
有限会社日下本店
株式会社くさか
真成葬祭
夜久野土木企業組合
天田瓦店
松田電器
株式会社衣川製材所
山本産業株式会社

平成22年度夜久野ふるさと基金決算書 (平成23年2月28日現在) 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	摘 要
H21年度繰越金	1,690,059	
寄 付 金	1,075,000	篤志寄付 43件 2/21迄
利 息	206	預金利息
収 入 合 計	2,765,265	

【支 出】

項 目	金 額	摘 要
保 険 料	345,930	平成22年度自治会保険料
印 刷 代	35,000	夜久野ふるさと基金だより(第14号)
額 縁 代	19,920	感謝状額縁 40個
感 謝 状	9,450	感謝状用紙100枚
会葬事務費	34,650	会葬はがき・封筒各3,000枚
粗 品 代	60,000	線香セット(お供) 60セット
寄 贈 品	252,399	明正小(51,349円) 育英小(52,920円) 精華小(49,506円) 夜久野中(98,624円)
事 務 費	4,000	切手代80円×50枚
事業支援金	370,000	夜久野防推協(20,000円) 夜久野社協(50,000円) 夜久野公民館運営協議会(300,000円)
支 出 合 計	1,131,349	

2,765,265円 - 1,131,349円 = 1,633,916円
次年度繰越金 1,633,916円

上記のとおり報告します。
平成23年2月28日 会計 新宮 春雄

ふるさと基金 まごころ銀行

篤志ありがとうございました。

- ★ 平成二十二年十月
亡妻供養 衣川 義和様 桑谷
亡妻供養 西田 正則様 日置
亡妻供養 藤原 守様 小倉
- ★ 平成二十二年十一月
亡父供養 岡本 寛明様 今西
亡妹供養 松本 勝一様 中田
- ★ 平成二十二年十二月
亡母供養 足立 三様 副谷
亡母供養 服部 武道様 向谷
亡母供養 荒木 雅雅様 三谷
亡母供養 小林 光雅様 羽白
亡母供養 赤井 信也様 畑
亡父供養 平井 吉朗様 野
- ★ 平成二十三年
亡母供養 夜久 常夫様 向野
亡母供養 青垣 山内 康雄様 下町
亡母供養 養 雄様 様 野

「夜久野ふるさと基金」様へのお礼
この度は、各小中学校に多
くの図書をご寄贈いただきま
した。こと、厚くお礼申し上げ
ます。
子ども達は、新しい本を読
むことができ、大変喜んでお
ります。夜久野地域の皆様方
の温かいお心に包まれて、学
校教育の充実が図られてあり
ます。ことに深く感謝申し上げ
ます。

夜久野ブロック校長会代表
福知山市立明正小学校
校長 衣川敏郎

編集後記

寒かった今年の冬でしたが、や
つと春のウキウキする季節になり
ました。目標とした年間4号の発
行が出来ました。ひとえに地域公
民館のご支援・原稿や写真をお寄
せくださった皆さま・協賛金を提
供頂いた企業関係者の方々のお陰
です。有難うございました。また
表紙を夜久野の民話で飾ってい
だいた夜久野中学校の皆さま有難
うございました。

私たちはチームワークのもと読
み易い紙面作りを一番に心がけ、
議論を重ねてきました。紙面内容
は小学校統合問題を中心とし、各
号特集ではアンケート結果により
自主防災組織の結成を促すことや
ゴミ収集の問題点の掘り起こし、
地域公民館統合問題を取り上げま
した。また毎号将来の夜久野を担
う元気で活躍する子供たちを掲載
しましたが如何でしたでしょうか。
一年間ご愛読いただき有難うご
さいました。

夜久野町の人口は 平成23年2月末日現在

- ★人 口 4,220人 (-109人)
(男) 1,973人 (-54人)
(女) 2,247人 (-55人)
- ★世帯数 1,652戸 (-25)
()内は去年同期

(市人口統計表による)